

中央材料部

1. スタッフ構成

○岡山 英樹(副院長、中央材料部長)

<手術室>

○渡部 早人(看護長)、木村 奈々、大下 麻希、今井 幹也

○協力企業:28名

【有資格者】

- ・ 第1種滅菌技師資格者:1名
- ・ 滅菌消毒業務受託責任者資格者:3名
- ・ 滅菌管理士資格者:3名
- ・ 第一種圧力容器取扱作業主任者資格者:1名
- ・ 特定化学物質等作業主任者資格者:2名
- ・ 第一種衛生管理者資格者:1名

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本看護協会手術看護認定看護師	渡部早人、今井幹也

3. 運営方針

- (1) 院内で発生する汚染器械を中央材料部で一元的に洗浄・滅菌・消毒を行います。
- (2) 安全かつ効率的な管理運営ができる手術器械・診療材料管理のシステムを確立します。
- (3) 手術室、救急室および病棟を中心に各部門との連携を図ります。

4. 実績

<業務概要>

- (1) 院内・各部門における使用済み再生滅菌器械の回収
- (2) 回収した再生滅菌器械の分別・洗浄
- (3) 洗浄・乾燥した再生滅菌器械の組立・包装および点検
- (4) 組立・包装した再生滅菌器械の分別・滅菌
- (5) 滅菌した再生滅菌器械を判定し、保管または払出準備
- (6) 各部門の定数に併せた再生滅菌器械の供給
- (7) 術間、術後清掃・関連諸室環境整備・手術器械ピッキング・検体搬送
- (8) 業者持ち込み器材の洗浄、包装、滅菌、供給
- (9) 滅菌期限管理・適正数量の提案業務
- (10) 電子カルテマスタ更新作業(術式との器械紐付け)

<活動内容>

- (1) 物品管理委員会の下部組織に中央材料部専門部会を発足させ、中央材料部の問題点の解決と想定外の時にどのように行動するかを協議しました。

- (2) 手術セット器械の未滅菌化に因るコスト削減および人的労力削減を行いました。
- (3) 手術器械処理量増加および時間外労働時間削減を目的とし、協力企業3名を増員しました。
- (4) 業者持ち込み器械受け渡し漏れ防止を目的とし、「業者器械における受け渡し記録」を基にディーラー/協力企業にて包装単位で員数の双方確認を実施しました。
- (5) アプリ(緊急連絡網)を活用し、災害時を想定した安否確認訓練を実施しました。(協力企業職員のみ)
- (6) 毎月のモニタリングにて評価を行い、改善事項の抽出および是正ができていたと評価できます。
- (7) 落下に因る器械の破損リスクの低減を目的とし、緊急棚に保管するセット器械の配置変更を実施しました。
- (8) 手術セット器械手順書について、見易くする事を目的に紙媒体からタブレットに変更しました。現在作成中で、来年度完成予定です。
- (9) 組立室に於いて、処理を実施する手術セット器械を選別する時間を短縮する事を目的とし、洗浄実施時に優先順位の高い手術セット器械に目印(シリコン札)を装着しました。優先順位の高い手術セット器械の保管場所を定めました。
- (10) 滅菌消毒業務手順書に基づいた業務遂行が実施できました。業務手順書にない業務は協議を実施し、業務区分の決定および業務手順書の改訂を実施しました。

■ 滅菌実施件数

	AC回数	EOG回数	PZ回数
1月	333	25	239
2月	296	22	232
3月	310	25	251
4月	327	23	238
5月	335	21	231
6月	358	24	245
7月	364	21	249
8月	345	24	219
9月	326	27	233
10月	350	26	232
11月	361	21	230
12月	362	22	242
合計	4,067	281	2,841
月平均	338.9	23.4	236.8

5. 2023年度目標

- (1) 物品管理委員会の下部組織である中央材料部専門部会にて、中央材料部における問題点の抽出および改善活動を実施します。
→開催頻度については、原則1回/2か月の頻度で開催します。

- (2) 手術室および中央材料部業務における作業手順書について、現行の内容を基に病院職員中央材料部責任者と滅菌消毒業務受託事業者間で協議および改訂を実施します。
- (3) 中央材料部洗浄室廊下にて保管している予備器械について、病院職員中央材料部責任者協力のもと、整理整頓を実施します。また、予備器械定数管理表を作成し、緊急必要時の対応や購入費削減に貢献します。
- (4) 前年度集計した手術器材取り揃え時における不足器材/当日使い回し器材/滅菌有効期限切迫に伴う再処理器材の実績(名称/数量)を基に、器材適正定数の提案を実施します。
- (5) 作業動線およびハード面(保管棚/作業台/カート等)の見直しを実施し、業務効率化を図ります。
- (6) 手術器械処理量増加および時間外労働時間削減を目的とし、オールラウンダー枠の設定・選任・育成開始を実施します。